

大飯町本郷地区東部 - 山ぎわの水田・ため池 -



山からの湧水が流れ込む休耕地



水草の豊富なため池

選定理由 ・県レッドデータブック掲載種（県RDB種）が多種確認されている

県レッドデータブック掲載種数： 15種（面積約50ha）

自然の概要

海に面した平野部と丘陵地の接する地域で、谷にある休耕地にはミズオオバコなどの水生植物が豊富で、ホソミイトトンボなどトンボ類の生息地になっています。また、ヒシなどの水生植物が生育しているため池もあります。

保全すべき主な環境

山田（山ぎわの水田および休耕地） ため池

該当地の位置



里の生き物紹介 ホソミイトトンボ（トンボ目イトトンボ科）

体長32～45mmのイトトンボの仲間で、平地や丘陵地の池沼、湿地に生息しています。か細い体ですが、夏の終わりから秋にかけて羽化した個体は、その姿のまま冬を越します。冬越した後、春になってようやく成熟して産卵します。

国内では関東以西～九州まで分布していますが、日本海側での生息地はあまり多くなく、県内では、敦賀市～高浜町の非常に限られた場所でのみ記録されています。

今後は、生息地であるため池の改修や、ブラックバスなどの影響を減らし、成虫の生活場所となる池周辺の林や草場がなくならないよう注意していく必要があります。

保全すべき環境に生息・生育している生物



イトトリゲモ
県域絶滅危惧 類
貧栄養のため池、水田に生育



ホソミイトトンボ
県域絶滅危惧 類
池沼、湿地に生息する。未熟成虫の生活場所となる周辺の樹林や草場が必要



ミズキキノシタ
県域絶滅危惧 類
池沼、ため池、河川、水路に生育



ミズオオバコ
県域準絶滅危惧
ため池、水路、水田に生育



ヒシ
要注目
中～富栄養の湖沼、ため池、河川、水路のよどみに生育